

# 学術情報リテラシー教育技能の 維持と向上について

平成23年12月2日(金)

第5班

討議要素:d.職員の技能・資質(指導技術・職員向研修等)

# リテラシー教育の現状と問題点

情報化社会の要請に応じて

ガイダンス・セミナーを開催しているが...

安定した品質で

リテラシー教育を提供できていない





## 原因・背景

---

- 個人の能力・技術に格差
- 慢性的な人手不足
- 人事異動による経験者流出・新人教育の不備
- マニュアル・ガイドラインの未策定
- 業務の標準化の遅れ

知識・技能が現場で継承されておらず  
向上どころか維持ですら困難



# 解決に向けて

---

図書館の重要な職務である以上

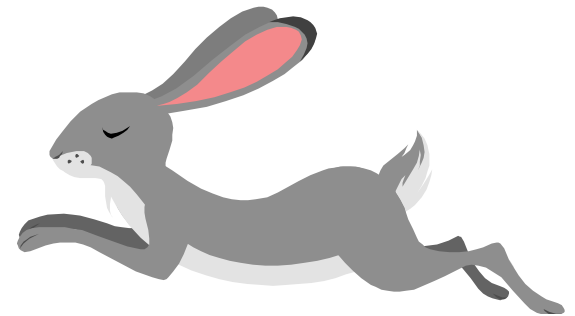
「人がいないのでできません」

...とは言えない

**質の高いリテラシー教育を  
提供し続けなければならない**

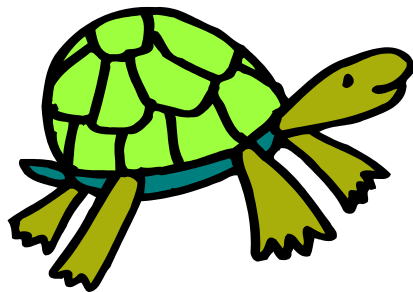
# 活動計画 今すぐ編

- カリキュラム内容のマニュアル化・標準化
- 不定期・小規模の演習会開催
- 学生・院生の戦力化
- 外部の人材・教材の活用
- 他大学の成果を借用
- できないことは止める



## 活動計画 長い目で編

- ワーキンググループ立ち上げ  
→職員全体の意識改革、能力の底上げ
- 図書館外と連携する  
他部署の職員、教員、大学全体 etc.
- 他大学・他機関との継続した情報共有



**一現場の問題をみんなで解決**

# 学術情報リテラシー教育の 未来のために



個々人の技能を  
組織全体で支えていく体制を



# 学術情報リテラシー教育の 未来のために

---

ご清聴ありがとうございました。